

令和4年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会
子宮がん部会 概要

1 日時：令和4年11月28日（月） 13：30～15：00

2 場所：オンライン

3 出席者：

	氏名	所属
委員	横山 康宏	岐阜県総合医療センター 女性医療センター長・女性科部長
	石原 恒明	石原産婦人科 院長
	酒々井 夏子	岐阜大学医学部附属病院病理部
	柳瀬 理	市町村保健活動推進協議会保健師部会（美濃市）
オブザーバー	伊藤 陽一郎	関保健所 所長
事務局	井上 玲子	保健医療課長兼健康推進室長
	田中 和美	主幹兼がん・受動喫煙対策係長
	江坂 ゆめか	技師
	成瀬 萌果	主事

4 内容：

報告：1 令和3年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会子宮がん部会議事

2 岐阜県のがんの現状等

- ・令和3年度の受診率は速報値ではあるが、胃、肺、大腸がんは、わずかに上昇がみられ乳、子宮については、受診率の低下が継続している。
- ・令和3年度には検診を中止または延期とする市町村は42市町村中6市町村まで減少し、さらに、令和4年度は中止・延期は0となった。安心して受診できる検診環境の整備に加えて、がん検診対象者に検診の必要性をアピールしていく両輪の取り組みが必要である。

3 がんの予防（子宮がん検診）の推進について

(1) 正しいがん検診の実施

(2) がん検診マネジメント

- ・液状化検体法を用いる市町村数が昨年度に比較し大きく増加した。
- ・HPV併用検診については、国の推奨グレードがCであることから県として積極的な推奨はできない。しかし、実施市町村が増える可能性があるため、行っている市町村の方法等を把握していく必要がある。
- ・HPVワクチンの積極的勧奨が令和4年4月から再開となった。併せてキャッチアップ接種を実施。4月からは新たに9価ワクチンも定期接種の対象に加わるため、今後の動向を注視していく必要がある。
- ・市町村チェックリスト項目の実施率向上のため、部会からの情報提供や保健所

の技術支援を継続していく。

- 市町村、検診機関のチェックリスト及びプロセス指標改善に向けて、市町村から積極的に検診機関への働きかけを行っていくよう依頼を行う。
- 市町村の精検結果回収方法について、がん検診の指針を遵守し、かつ、回収率を最大化できる方法を県内市町村の好事例から考察し、体制整備を進める。

⇒上記協議結果について、市町村及び検診機関に通知を行い、精度向上に向けた取組みを促していく。